

# ごあいさつ

徳島県小学校教育研究会算数部会

会長 松永健治

本日ここに、令和7年度徳島県小学校教育研究会算数部会研究（名西郡）大会並びに第76回徳島県小学校算数教育研究大会を、県内各地の会員の皆様方にご参加いただき、名西郡石井町高川原小学校を会場として開催できますことに深く感謝を申しあげます。

さて、徳島県小教研としては、令和2年度から3年度にかけて行った諮問委員会において、明日からの授業に役立つ授業の公開を基本とし、公開授業や研究協議をこれまで同様に各学年で行うことは大切にしつつ、運営面での教員の負担軽減も進めるように指針作りを行いました。具体的には、前年度に行っていたプレ大会を廃止しました。また、会場校では、教室や廊下に2年間の研究の成果物を掲示したり、昼食時に体育館で合奏などのアトラクションをしたりしたこともありましたが、令和7年度以降なくすことになっています。遠隔地から参集する会員のことを考慮し、会全体の開始を少し遅く、終了を少し早めることに取り組んだり、湯茶や弁当の世話を行わず参会者に上靴や昼食・飲み物の持参をお願いしたりすることで、各方面への負担軽減も進められてきました。

しかし、高川原小学校には会場校として、公開授業を始め準備や運営にはかなりのご苦労があったことと拝察します。その中にあって高川原小学校の新たな取組として着目したいのが、指導・助言を行う講師の学年担当制です。令和6年度の夏休み前に高川原小学校から同制度の申し出があったことを受けて、6名の講師の先生方それぞれに担当学年のお願いをしました。これにより会場校としては、令和6年度から7年度にかけて授業者や該当学年の教員に異動があっても、担当講師と共に積み重ねてきた各学年の研究成果は保持されることになりました。また、大会要項や紀要を冊子で配付する方法から、小教研算数部会のホームページに掲載し、事前に参会者が印刷して持ち寄る方式にも取り組まれました。これを機に算数部会としては、過去の大会の研究紀要や提案発表資料などを同ホームページに集約し、本県算数教育のあゆみを会員の皆様に広めていく機会としました。

本県算数部会では、研究主題「深い学びの実現に向けた算数科授業の在り方－一人一人が数学的な見方・考え方を働かせる協働的な学びを軸に－」のもと、①数学的に考える資質・能力を明確にした学習評価の充実 ②子供が数学的な見方・考え方を働かせる数学的活動の設定 ③数学的活動を充実させるための授業展開上の支援の3つを研究の視点とし、各郡市を中心とした実践研究を重ねて参りました。本日の公開授業・研究発表・研究協議から吸収されたことを各学校に持ち帰っていただき、明日からの算数科授業の充実・向上に生かしていただきたいと願います。

結びになりましたが、本研究大会を開催するにあたり、温かいご指導・ご支援を賜りました徳島県教育委員会、石井町教育委員会、神山町教育委員会、指導・助言の先生方、会場校として旧年度から本年度にかけて研究に携わって来られた齋藤校長先生を始め高川原小学校の職員の方々、ご協力をいただきましたすべての皆様方に心より感謝を申しあげまして、ごあいさつとさせていただきます。